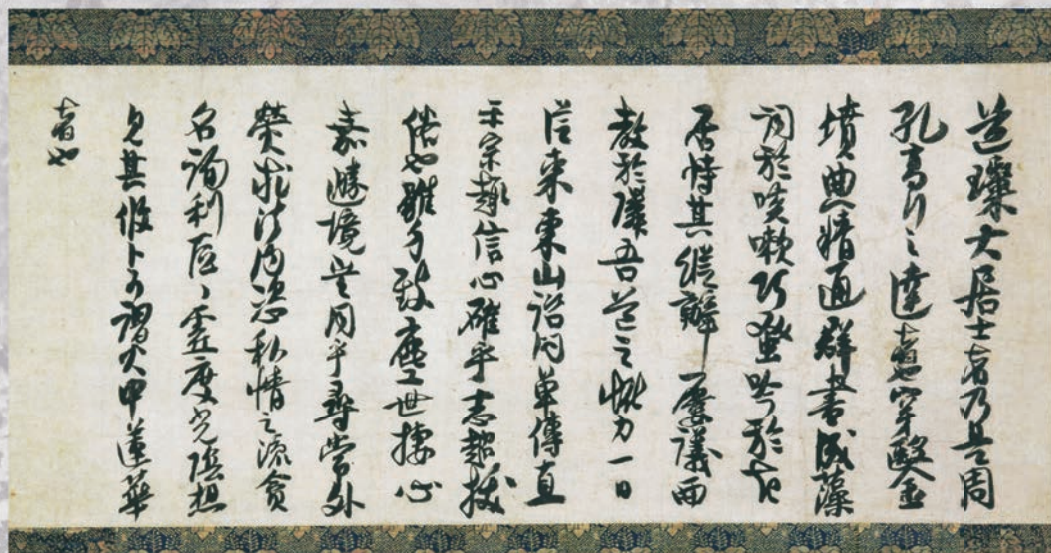


中川一政の眼 愛蔵コレクション展

NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art : 2024-25 Winter Exhibition
Aesthetic sense of NAKAGAWA Kazumasa — from His Collection



併設 来館者が選んだイチ押し作品展



(部分)《清湘老人(石濤)山水図》17～18世紀、(上段左から)《マジョリカ陶器大皿》16～17世紀、《マジョリカ陶器色絵人物図壺》16～17世紀、《マジョリカ陶器 天使図アルバレッロ》16～17世紀、(中段左)《兀庵普寧墨蹟》13世紀、(中段右)《大燈国師墨蹟》14世紀、(下段左から全て中川一政作品)《薔薇》1989年、《駒ヶ岳》1975年、《銅・大器晩成》1977年、《向日葵》1975年

中川一政(1893-1991、文化勲章受章者)がコレクションした品々にスポットを当て、彼の審美眼に触れる企画展を開催します。生涯独学であった一政ですが、美術学校で学ぶことや特定の師に習うことに替えて、古今東西の芸術に学び、自身の眼を養いました。その眼に適う美術工芸等を蒐集したコレクションには、俑(よう)や仏像、壺や硯、また墨蹟や絵画などがあり、まさに洋の東西や時代を問わない品々です。とりわけ一政が心揺さぶられたのは、禅僧の書である「墨蹟」や、イタリアで作られた「マジョリカ陶器」です。一政は、墨蹟の中に宿る精神性に心打たれ、自身が書の制作に向かう糧としました。また、マジョリカ陶器は、彼が度々画のモチーフとして用いているものです。本展では、中川一政が蒐集し愛蔵、そして愛用したコレクションを一堂に公開します。また、本展に併設して「来館者が選んだイチ押し作品展」も開催します。2020年以降の来館者が選んだ「押し作品」を集計し、上位にランクインした作品を中心に紹介するものです。人気作品が勢ぞろいする機会をどうぞお楽しみください。

開館時間 9:00～17:00
休館日 月曜日(但し1/13・2/24(月・祝)開館、1/14・2/25(火)休館)
年末年始(12/29～1/3)
入館料 一般200円 高校生100円(20名以上の団体は半額)
中学生以下及び障がい者手帳をご提示の方とその介護者1名は無料

2024.11.26(火)
▶ 2025.3.2(日)

白山市立松任中川一政記念美術館

〒924-0888 石川県白山市旭町61-1 電話 076-275-7532 (北陸新幹線金沢駅から普通列車で10分 松任駅南口横)
Closed: on Mondays. Access: 1 min. on foot from Matto Sta. South Exit. (10 min. on Local line from JR Kanazawa Station to Matto Station.)